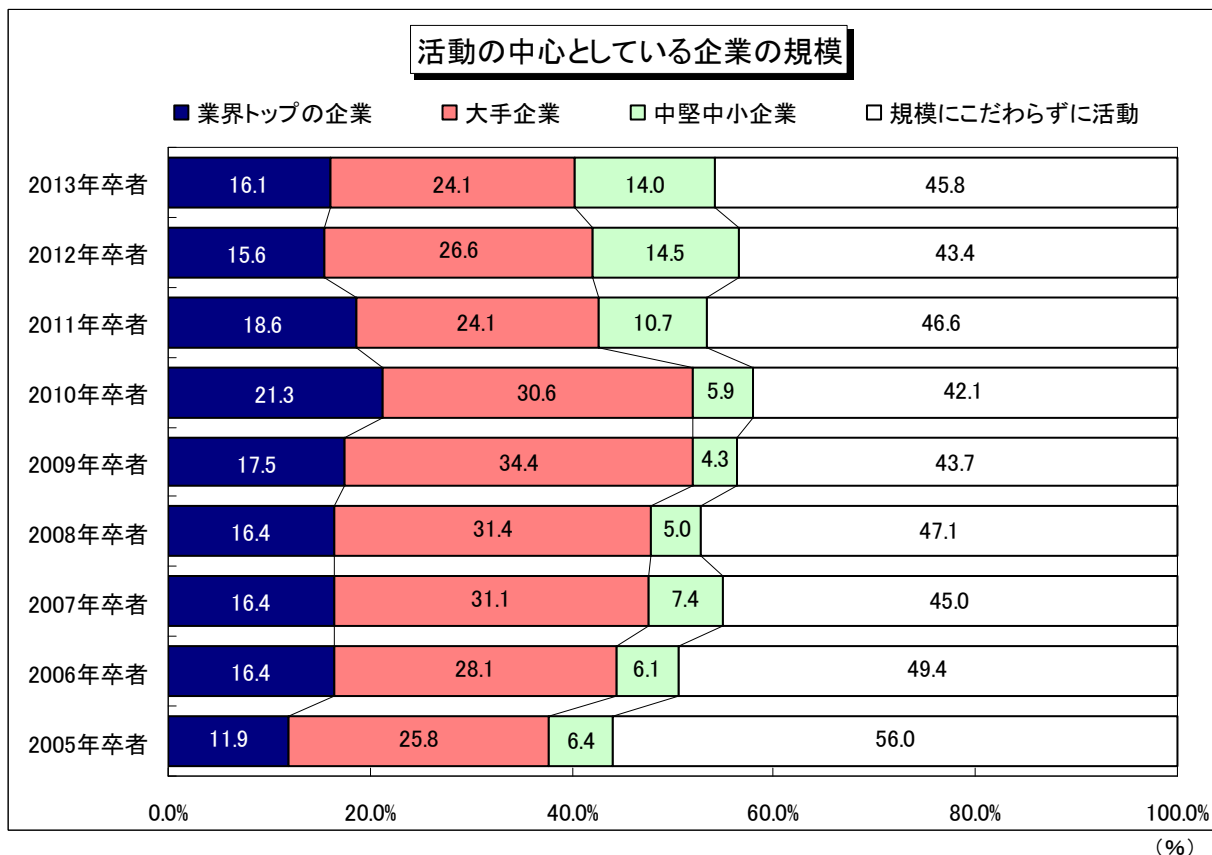


**第3回調査**
**3月1日現在の就職活動状況**
**1. 活動の中心としている企業の規模**

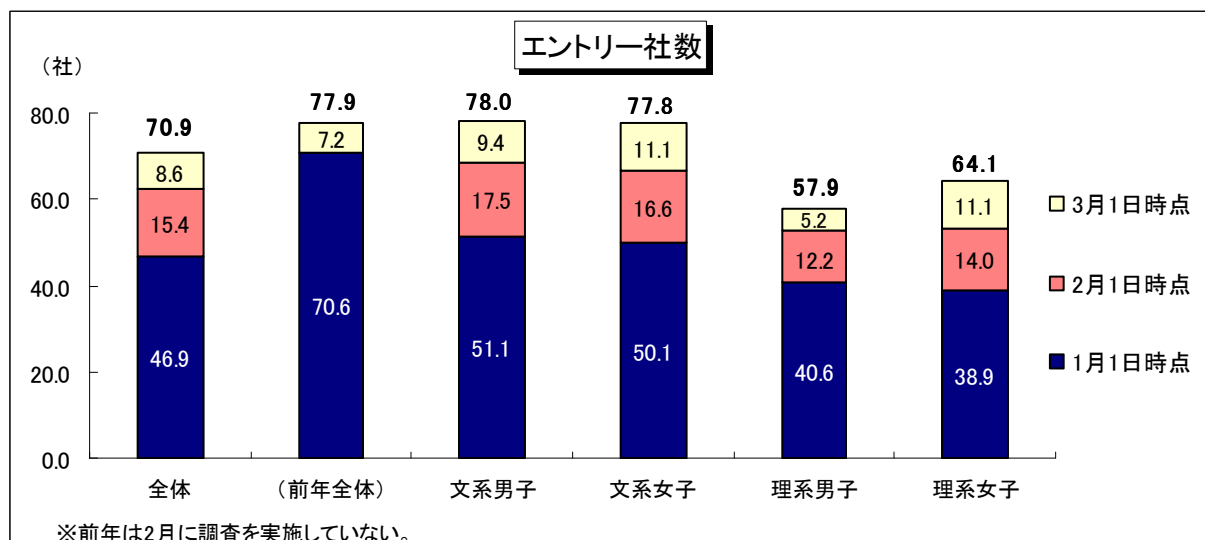
就職活動の中心としている企業規模を聞いたところ、「業界トップの企業」16.1%、「大手企業」24.1%で、いわゆる「大手ねらい」の学生は40.2%と約4割だった。就職活動期間が2カ月短くなり十分な準備期間が取れない学生が多いことから、何らかの変化が生じているのではないかと注目していたが、前年と大きな変化は見られなかった。「規模にこだわらずに活動」が45.8%と最も多いが、実際に受験予定企業を聞くと大手がずらりというケースも少なくない。大手企業志望者は依然主流であり、大学が中堅中小の優良企業に目を向けるよう指導を行っても、現時点で中堅中小企業を活動の中心に据える学生は限られている。採用数の少ない中小企業では、大手の選考が一段落した後に採用活動を開始するケースもあり、学生の目が本気で中堅中小に向くのは、まだ先になると見られる。



	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
業界トップの企業を中心に活動	20.2	11.5	18.0	9.8
大手企業を中心に活動	23.4	24.2	29.1	12.8
中堅中小企業を中心に活動	13.2	13.8	15.0	14.3
規模にこだわらずに活動	43.2	50.6	38.0	63.2

## 2. 3月1日現在のエントリー状況

3月1日現在、企業への平均エントリー社数は70.9社。先月調査（62.3社）からの1カ月間の増幅は8.6社だった。今期は就職活動開始が2カ月遅れたことから、1月調査時点では前年同期比3割減からのスタートだったが、1月以降伸び、今回は対前年1割減のところまで来た。とは言え、就職活動が進むに従い新規エントリーのペースは徐々に鈍ってきており、今後のエントリー予定社数も13.3社と前年よりやや少ない数字である点が気になる。今後の伸びが懸念される。

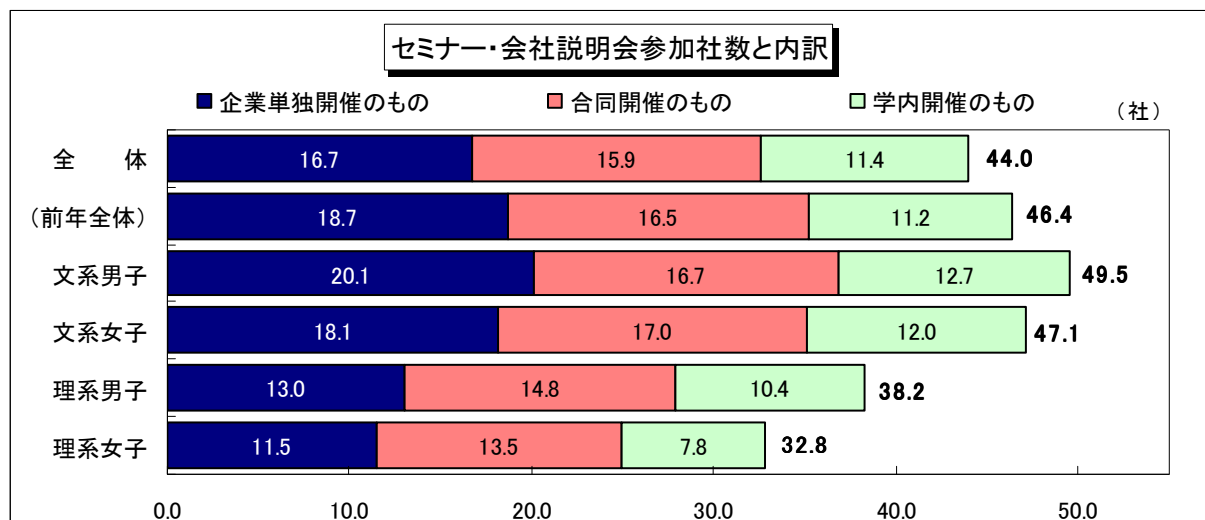


### 今後のエントリー予定社数

	全体	(前年全体)	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
今後のエントリー予定社数	13.3	15.3	15.5	13.2	11.5	10.8

## 3. セミナー・説明会への参加状況

セミナー・会社説明会の平均参加社数は44.0社。前年同期より2.4社の微減にとどまり、セミナーに関してはほぼ前年の数に追いついた。ただし、企業単独セミナーの社数が前年より2社少ない。やはり活動期間短縮といったスケジュール的な問題が影響しているのだろう。前年のモニターは、「すぐに枠が埋まり予約が取れない」といった悩みが目立ったが、今期のモニターからは、「セミナーの開催が重なり、日程調整が難しい」といった悩みが多く寄せられている。



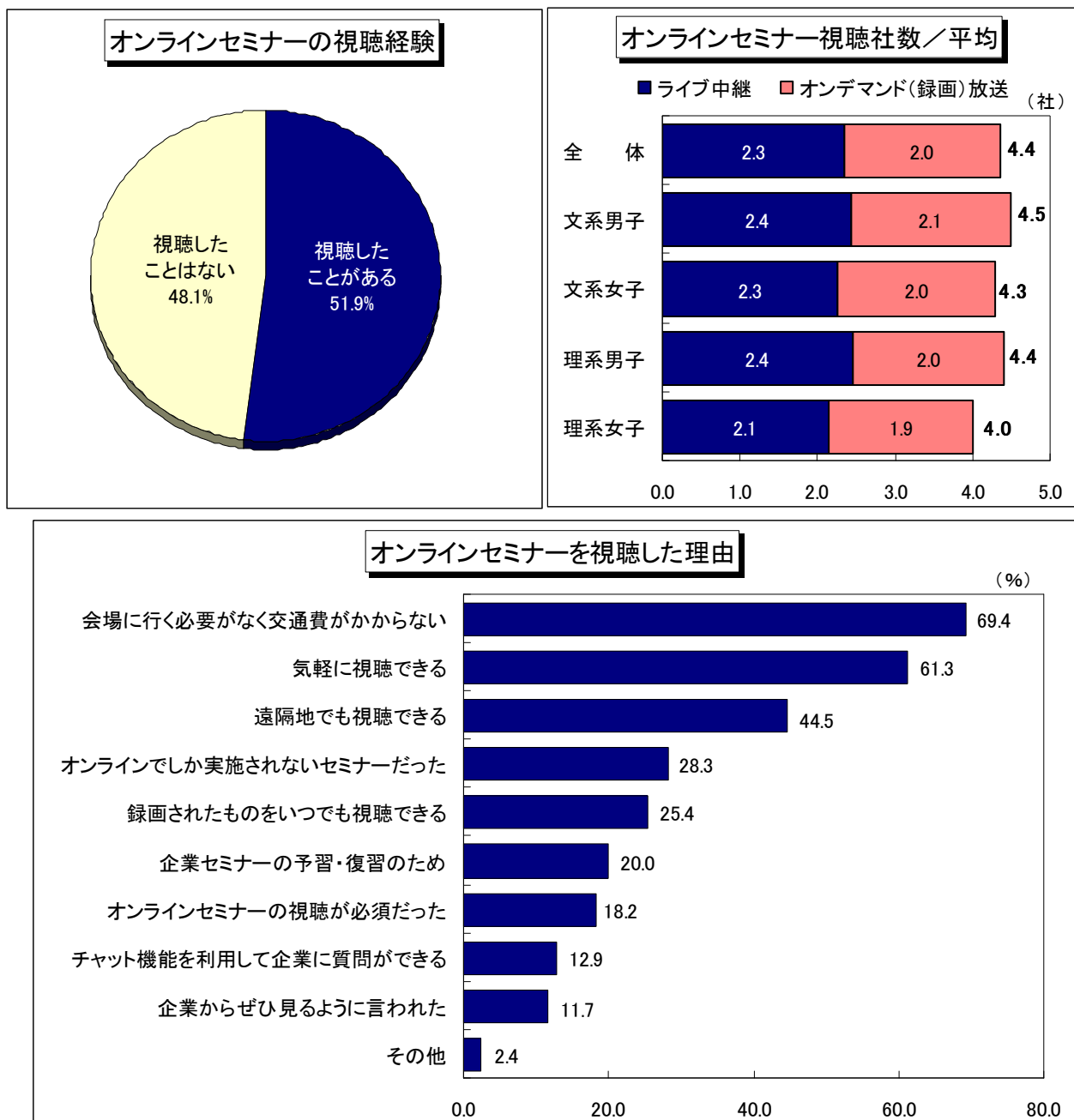
#### 4. オンラインセミナーの視聴状況

今期開催が増えたインターネットのオンラインセミナー（WEBセミナー）について、初めて視聴動向を調査した。

オンラインセミナーを「視聴したことがある」という学生は51.9%と半数強。文理男女といった属性での目立った差はなかった。平均視聴社数は、ライブ中継2.3社、オンデマンド（録画）放送2.0社で、ライブ中継がやや多かった。

オンラインセミナーを視聴した理由を重ねて聞いたところ、「会場に行く必要がなく交通費がかからない」が69.4%で最も多かった。とりわけ地方学生が多く選び、最も高い「九州・沖縄」が82.5%で、最も低い「関東」62.3%との差は約20ポイント。「遠隔地でも視聴できる」も同様の傾向が見られた。2番目に多かった「気軽に視聴できる」（61.3%）は、地域差なく選ばれていた。

（地域別集計は別紙ご参照）



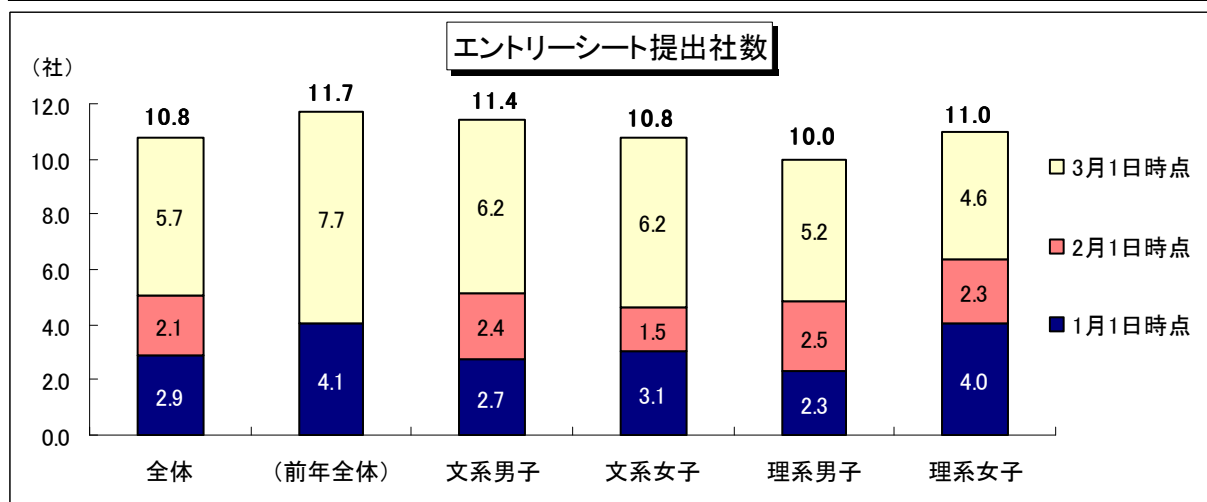
### 5. 選考試験への参加状況

3月1日現在で、企業にエントリーシートを提出した学生は全体で92.9%。先月調査(73.2%)からさらに20ポイント増え、前年同期調査とほぼ同率となった。一人あたりの平均提出社数は10.8社。先月調査の5.0社から5社あまり増え、この1カ月で大きく伸びた。大手有力企業は提出締め切りを3月とするケースが多いため、社数はさらに伸びそうだ。

一方、選考試験受験者は、筆記・WEB試験で9割、面接試験で6割を超えている。一人あたりの受験社数を見ると、どの形式も前年をやや下回る水準。面接試験が前年の8割程度にとどまっているのは、倫理憲章を遵守している企業が増え、面接を控えているからだろうか。

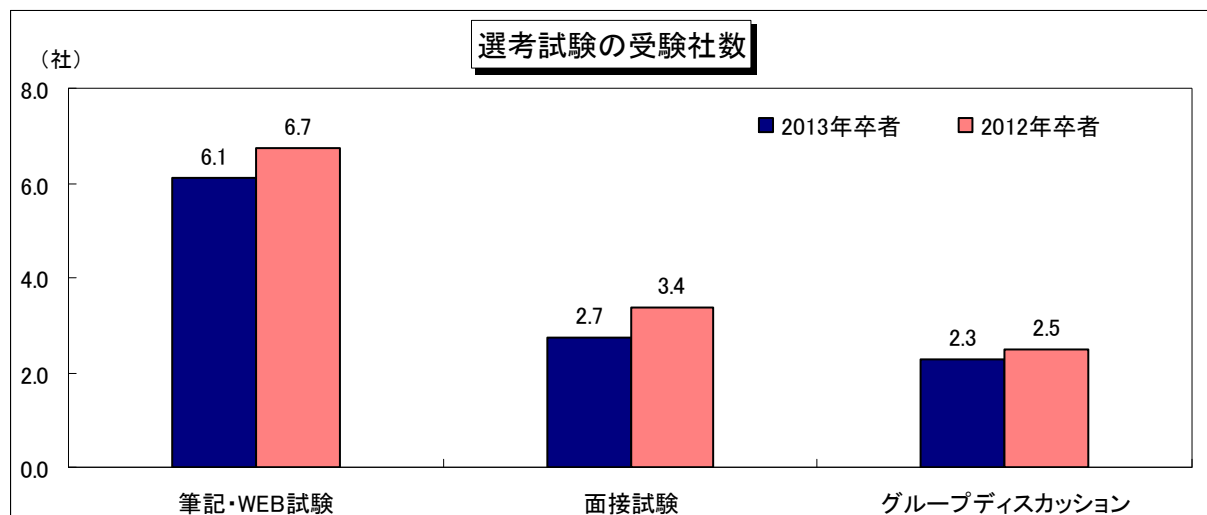
エントリーシート提出の有無

	全 体	(前年全体)	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
提出した	92.9	93.7	90.9	95.8	92.2	93.2
提出していない	7.1	6.3	9.1	4.2	7.8	6.8



選考試験の受験状況

	全 体	(前年全体)	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
筆記・WEB試験を受験した	90.4	90.7	91.6	91.9	88.6	87.2
面接試験を受験した	63.3	66.4	66.4	64.9	59.0	60.9
グループディスカッションを受験した	50.3	54.3	55.7	50.8	46.5	41.4



### 6. 志望業界の推移

現時点の志望業界を40業界の中から5つまで選んでもらい、同様の方法で調査した1月時点のものと比較してみた。

文系理系とも1月調査より全体的に数字がなだらかになっており、分散化してきている。業界を選ぶ視野が広がったと捉えることができる。文系は、「銀行」が1位を保っているが、採用数が少なく比較的倍率の高い「マスコミ」「商社（総合）」はそれぞれ3位、5位へと順位を下げた。理系は、上位3つの順位が入れ替わる程度で、今のところ大きな変化は見られない。

#### 志望業界の推移（文系）

#### 志望業界の推移（理系）

※上位15業界

1月調査		%	3月調査		%	1月調査		%	3月調査		%
1位	銀行	38.8	1位	銀行	37.9	1位	素材・化学	27.6	1位	電子・電機	23.8
2位	マスコミ	25.2	2位	保険	19.5	2位	水産・食品	26.5	2位	素材・化学	23.5
3位	商社(総合)	23.3	3位	マスコミ	19.0	3位	電子・電機	26.3	3位	水産・食品	22.5
4位	保険	21.7	4位	運輸・倉庫	18.6	4位	医薬品・医療関連・化粧品	25.5	4位	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	20.8
5位	水産・食品	18.2	5位	商社(総合)	18.2	5位	情報・インターネットサービス	20.9	5位	医薬品・医療関連・化粧品	20.4
6位	運輸・倉庫	17.7	6位	商社(専門)	16.4	6位	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	20.3	6位	情報・インターネットサービス	19.6
7位	ホテル・旅行	14.3	7位	水産・食品	15.8	7位	機械・プラントエンジニアリング	17.1	7位	機械・プラントエンジニアリング	19.2
8位	商社(専門)	14.2	8位	信用金庫・労働金庫・信用組合	14.9	8位	自動車・輸送用機器	16.9	8位	自動車・輸送用機器	17.5
9位	建設・住宅・不動産	13.2	9位	エネルギー	13.8	9位	精密機器・医療用機器	15.5	9位	精密機器・医療用機器	16.7
10位	調査・コンサルタント	12.8	10位	建設・住宅・不動産	12.6	10位	建設・住宅・不動産	15.2	10位	建設・住宅・不動産	14.8
11位	信用金庫・労働金庫・信用組合	12.7		素材・化学		11位	エネルギー	12.9	11位	通信関連	13.3
12位	エネルギー	11.8	12位	情報・インターネットサービス	11.5	12位	通信関連	12.3	12位	エネルギー	12.5
13位	電子・電機	11.7	13位	調査・コンサルタント	11.4	13位	銀行	11.3	13位	運輸・倉庫	11.3
14位	情報・インターネットサービス	11.6	14位	官公庁・団体	11.3	14位	官公庁・団体	10.7	14位	官公庁・団体	10.4
15位	医薬品・医療関連・化粧品	11.1	15位	電子・電機	11.1	15位	調査・コンサルタント	9.8	15位	銀行	9.0

### 7. 3月1日現在の内定状況

3月1日現在の内定状況を聞いたところ、すでに内定を手にしてという学生は全体の3.6%だった。少ないサンプルではあるが、内定を得た業界は「情報処理・ソフトウェア」「建設・住宅・不動産」などが多い。就職戦線はまだ始まったばかりであり、内定者のほとんどが活動を継続すると回答した。

#### 3月1日現在の内定の状況

(%)

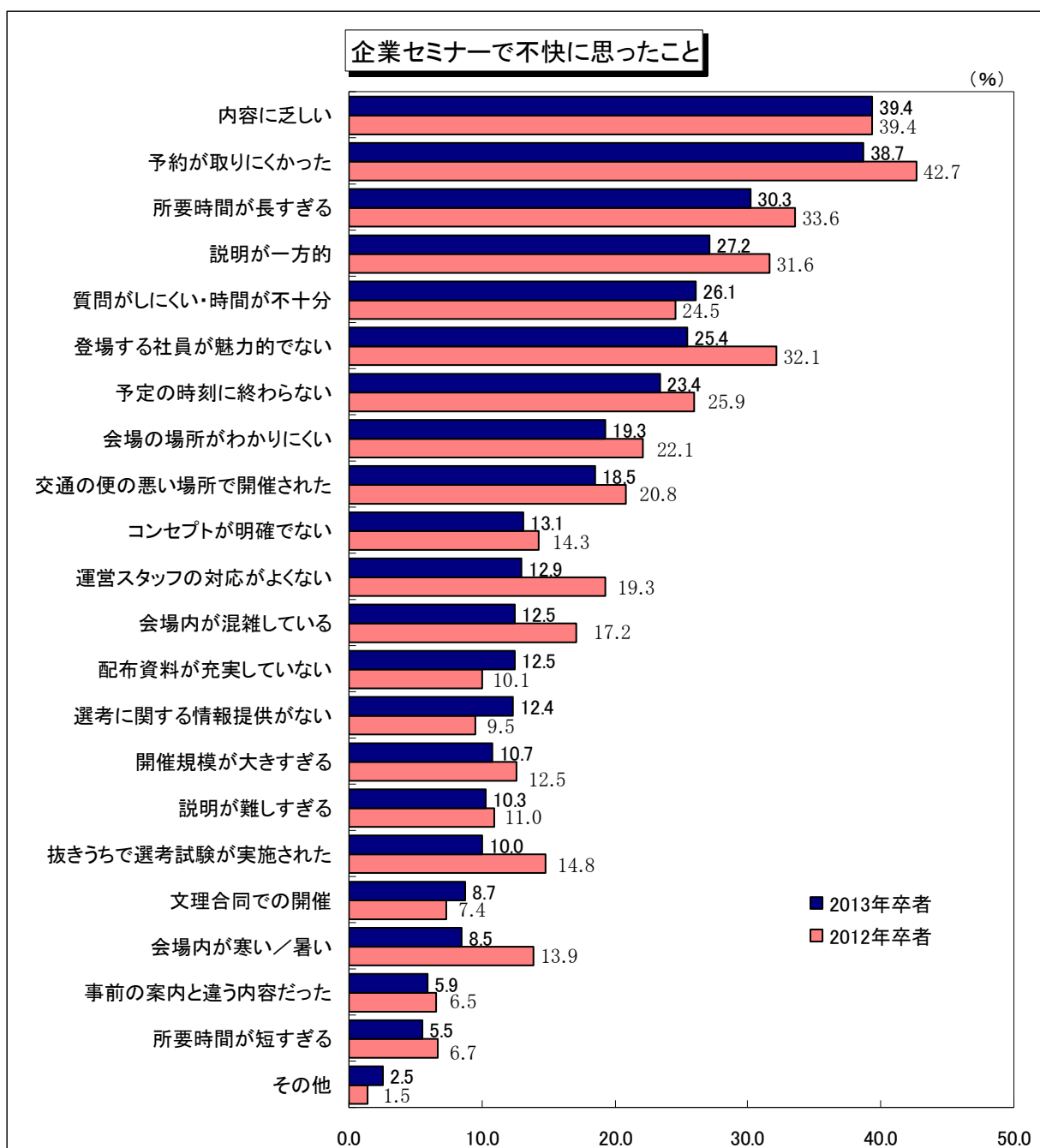
	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
内定有り	3.6 (4.1)	3.9 (4.4)	3.9 (3.8)	2.8 (4.0)	3.8 (4.3)
内定なし	96.4 (95.9)	96.1 (95.6)	96.1 (96.2)	97.2 (96.0)	96.2 (95.7)
内定社数（平均／社）	1.1 (1.4)	1.1 (1.6)	1.1 (1.3)	1.2 (1.4)	1.2 (1.0)

※( )内は2011年の同調査での3月1日現在の数値

### 8. 企業セミナーで不快に思ったこと

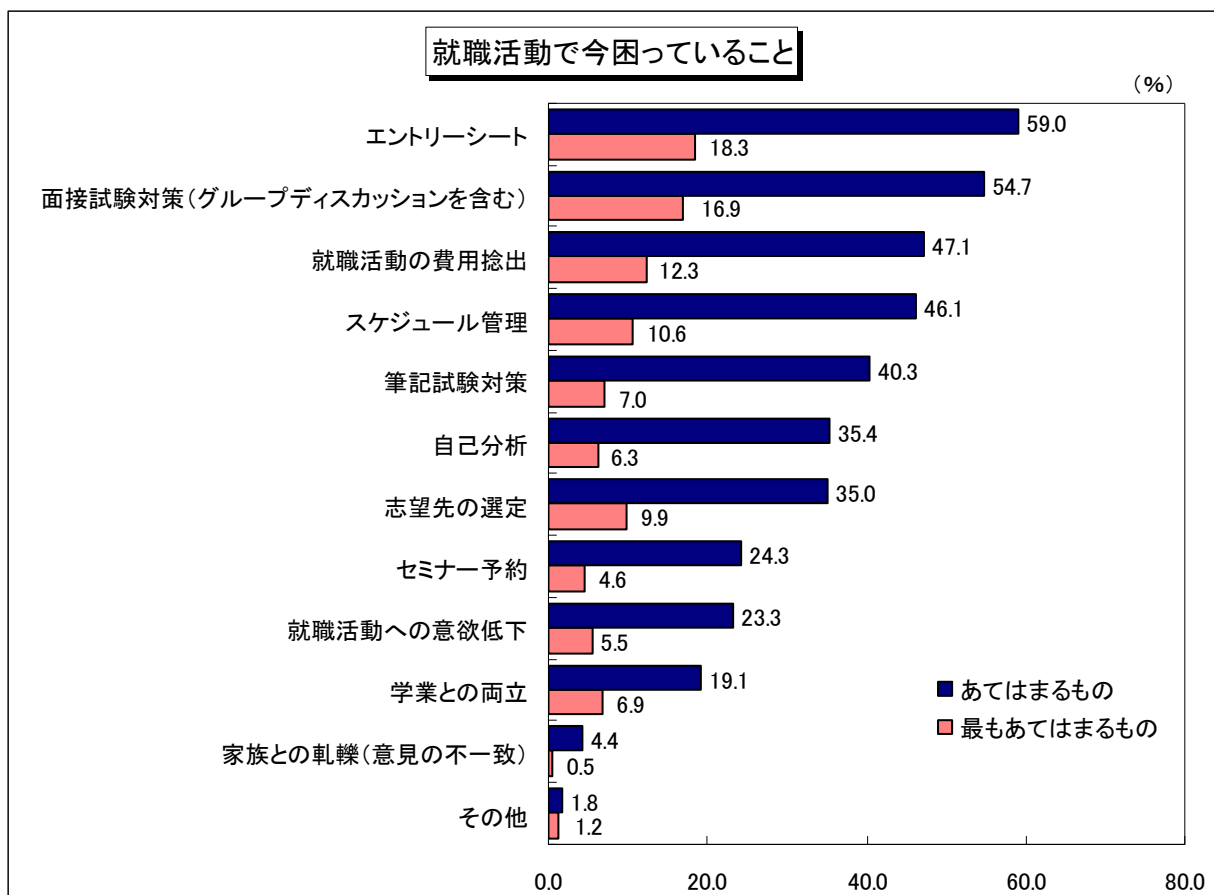
2月調査では「参加してみたいと思う企業セミナーの条件」を聞いたが、3月調査では実際に参加してみて感じた「企業セミナーで不快に思ったこと」を聞いている。

前年調査では「予約が取りにくかった」が42.7%で最も多かったが、今年は38.7%と数値を下げ2番目になった。今年最も多くかったのは「内容に乏しい」で、前年と同じく39.4%と4割弱が選んだ。以下「所要時間が長すぎる」30.3%、「説明が一方的」27.2%などと続くが、全体的に前年度調査よりも数値は低めだ。選択肢の中からあてはまるものをいくつでも選ぶといった調査方法は同じである。採用広報期間の短縮により母集団形成に苦慮する企業が多い中、母集団を確実に選考まで持っていくために、例年以上にセミナーの場を重視し、学生に配慮して開催している企業が増えていることが、こうしたデータに反映しているのだろう。



### 9. 就職活動で困っていること

本格的な選考シーズンを間近に控え、多くの学生が多忙を極めるこの時期、どんなことに困っているのかを聞いた。最も多いのが「エントリーシート」。59.0%と約6割が選んでいるが、やはり4月選考開始に向け提出締切日が迫っている学生が多いためだろう。次いで「面接試験対策」（54.7%）が続く。「エントリーシート作成やセミナーなどに追われて対策する時間がない」という声が目立つ。「筆記試験対策」も40.3%が選んでいる。3番目は「就職活動の費用捻出」（47.1%）。費用に関しては、とりわけ地方大学に通う学生を中心に「交通費が予想以上にかさむ」といった悩みが今期も多く寄せられている。



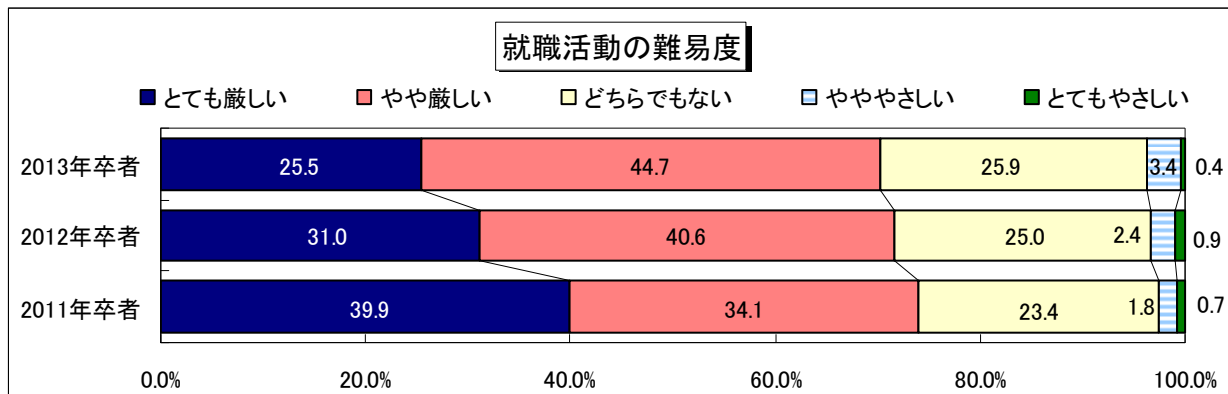
#### ■就職活動で困っていること

- エントリーシートの締め切りがほぼ毎日あるので、添削してもらう時間が持たず、クオリティーに不安がある。  
<文系男子>
- 面接対策。学校のキャリアセンター予約がいっぱいで、自分で対策を立てるしかない。また、受けた後も何が基準で受かったのか、落ちたのかがはっきりしない。  
<文系女子>
- 地方に住んでいるので一回の移動でなるべく複数の説明会に参加するようにはしているが、預金の減りをみるとこれからの生活すらも心配になる。  
<理系男子>
- セミナーの日程が重なってしまうことが多く、上手に予定を組むことが難しいです。  
<文系男子>
- 卒業研究が始まるので、研究もしっかりやりたいですが、選考慣れもしたいし、見学にも行きたい。スケジュールが入れられなくて今困っています。  
<理系女子>
- 就職活動は楽しめた者勝ち！と言われるし、私自身も楽しもうと当初は思っていた。しかし、情報を常に入れないといけない環境を続けている今現在、疲れが出てきてしまった。  
<文系女子>



## 10. 就職活動の難易度

先月調査に引き続き、就職活動の感触を聞いた。この指標は毎年3月調査で聞いているため、3年間の推移を確認したい（「わからない」と回答した人を除いてグラフ化）。「厳しい」と感じる学生は70.2%と、今期も7割を超えている。しかしながら、「とても厳しい」との回答は25.5%と前年度よりさらに割合が減った。学生の抱く感触は企業の採用意欲の回復状況とも一致している。



### ■就職活動に関して思うこと

- 当初は開始時期の遅れもあり、難しいと感じていたが、就職活動そのものに慣れてきたと感じている。 <文系男子>
- だんだんと忙しくなってきた、自分が今何をすべきかをすぐに判断できないことがあります。これからスケジュール管理が課題になりそうです。 <文系女子>
- 広い視野を持って、様々な会社を見ていると、12月からエントリー開始ではとても間に合わないし、学業に支障が出ている。 <理系男子>
- 企業が地方に行く経費を削っているのは仕方ないと思いますが、代わりにWEBセミナーを増やしてほしいと思っています。 <文系女子>
- 面接が始まるまでの期間がなかなかもどかしく、（おそらく）必要のない不安にかられる瞬間が多いです。そんな中で、カッコイイ社員さんに会って、その会社に入りたいと思うようになることが多いです。 <文系男子>
- 就職活動をここまで進めてきて、はじめとはずいぶん志望が変化してきている。はじめはイメージだけで企業・業界を選んでいただけだと感じる。 <文系女子>
- 推薦を使うべきかどうか悩んでいる。第一志望は推薦を取れなかったのが自由応募でエントリーしますが、かなりの大手なので不安しかない。 <理系女子>
- 就職活動を通じて成長できていると思いますが、笑顔で就職活動を終わられるかは不安です。 <文系男子>
- 息切れし始めた。今内定をもらったら何も考えずにそこに入社してしまいそうだ。なかなか面接を経験できないまま希望の会社の面接が始まってしまいそうで怖い。 <理系男子>
- 選考が進んだり落ちたりして、先月より進んでいることは確かです。もっと頑張りたいです。 <文系女子>
- 内定を得るまではまだまだ長い道のりが残っている。気持ちを切らさずに努力し、自分に合った就職先を見つめたい。 <文系男子>

#### 《調査概要》

調査対象：2013年3月卒業予定の全国の大学3年生（理系は大学院修士課程1年生含む）  
 回答数：1,290人（文系男子440人、文系女子356人、理系男子361人、理系女子133人）  
 調査方法：インターネット調査法  
 調査期間：2012年3月1日～7日  
 サンプル：日経就職ナビ2013就職活動モニター

◆本資料に関するお問い合わせ先：03-5804-5567 / 株式会社ディスコ キャリアリサーチ

「日経就職ナビ 就職活動モニター調査」は、株式会社日経HRと株式会社ディスコが大学生の就職活動状況を調査することを目的として実施しています。日経就職ナビは株式会社日経HRが企画・管理を担当し、株式会社ディスコが運営事務局を務めています。